

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

# ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

<http://www.okinawasisi.com>

10月21日現在の会員数484人  
(男性321人・女性163人)

## 「シルバーの日」ボランティア活動 事務所周辺清掃で「普及啓発促進月間」アピール



10月はシルバー人材センターの「普及啓発促進月間」です。この月間を通してセンターの果たす役割を再確認し、会員・役職員の意識高揚をはじめ、地域社会へセンター事業を広くアピールするための普及啓発活動を実施。地域に根ざすシルバー事業の拡大を図ります。

### 【センター独自の取り組み】

- ① 普及啓発チラシ配布
- ② 「シルバーの日」清掃ボランティア
- ③ シルボンヌ沖縄経験交流会への参加
- ④ 会員手工芸作品販売(シルボンヌ会場)
- ⑤ のぼり旗等の掲揚、HP等によるPR。

当センター独自の取り組みとして「シルバーの日」清掃ボランティアは、沖縄市シルバー人材センターの事務所周辺などで美化清掃作業を通して、普及啓発促進月間をアピールした。大城博副理事長は「今回も事務所周辺の清掃作用となった。安全には十分に配慮して作業をお願いしたい」と挨拶された。





## 10月22日のシルボン又交流会で沖縄市s c代表として経験発表を行いました。

## 沖縄市SC会員 奥原 弘子さん



わが街、沖縄市は本島中部に位置しており、人口141,625人、世帯数は68,007世帯、うち60歳以上の人口は39,950人。県内では那覇市に次いで人口が多い都市となっております。沖縄市は1974年にコザ市と美里村が合併して誕生。昨年の令和6年4月1日に、市制施行50周年を迎えました。そして、沖縄市シルバー人材センターは、昭和59年5月16日に設立し、同年6月12日に県知事の認可を受け、センター事業を開催し、昨年40周年を迎えました。9月の末の会員数は474名。平均年齢は74.8歳。うち女性会員は161名の平均年齢は74.3歳となっております。

次に、派遣事業と受託事業について説明します。派遣事業の主な内容は、病院のスタッフ送迎業務、学童の送迎と補助業務、洗車の拭き上げ業務があり、受注件数は17件。就業延人員は2,867人日。実績は約1千6百192万円となっております。受託事業については、市内17か所の公園の草刈清掃及びトイレ清掃。中城湾港臨港道路の草刈清掃および公園トイレ清掃。そして、倉敷ダムの草刈、トイレ、施設清掃。それから、倉敷衛生施設組合のゴミ分別作業です。また、消防本部などの公共施設内清掃を6か所。市の粗大ゴミ受付等の業務も請け負っており、ここでは女性会員が活躍しています。

令和6年度の受注件数は719件、就業延人員は34729人日で、契約金額は約2億3千40万円となりました。

ここで、私の経歴とシルバーでの活動内容をお話しさせていただきます。私はこれまで公共機関や民間企業で、相談員として勤めておりました。退職後は、健康づくりのため、令和2年度に当センターへ入会しました。入会して間もなく、事務局よりセンターの就業・入会相談員の仕事を紹介され、「これまでの経験が役に立つのなら。」と喜んで、週1回の業務を引き受ける事にしました。内容は、新規入会希望者の方に対して、センターの基本理念や会員になるための説明と情報の提供。登録会員については、就業相談、情報提供などを行っています。センターのシステムを理解して頂くための説明や現場での困り事などは大変な面もありますが、分かりやすく丁寧な説明を心がけて対応し、事務局への調整・報告を行っています。就業相談後、事務局より会員が

「無事就業に就きました」と報告を受けた時は、嬉しくなります。

また、現在も週1回の相談員を続けながら、沖縄市役所環境課より受託している「粗大ゴミ電話等受付業務」も週2回携わっています。就業内容は、月曜日から金曜日の8時30分から17時15分まで、現在9名の女性会員が1日3〜4名体制で就業に就いています。

市内の粗大ゴミや草木類の受付、市で収集できないゴミ案内や、民間の処理事業者への案内、ゴミの分別相談など、市民からの直接窓口となっております。前年度の電話受付件数は3万4千7百84件となっております。その中に苦情や相談対応件数は入っていません。毎月2900件を超える電話があり、特に12月は1日で2000件を超え、また、次年度からはオンライン受付も開始予定で、新たな業務を覚えなければなりません。そんな日々ですが、顔が見えない方との会話だけに「親切で、丁寧な言葉使い」を心がけて仕事に取り組んでいます。時々、市民の方から「分かりやすく丁寧な説明をして頂きありがとうございます」との感謝の言葉を頂くと、こちらも嬉しくなり、やり甲斐を感じます。

こうして入会6年目となり、昨年度からは、安全委員として、委員会や現場パトロール活動へも参加しています。センターへ入会してからは、初めての経験が多く、色々な事もありますが、新しい事を学ぶ機会も増え、働く事で生活リズムができて、認知症予防にも大いに役立っていると思います。センターへ入会して、本当に良かったと感じています。これからも新たな出会いや体験に刺激を受けつつ、日々笑顔で仕事を楽しみたいと思います。これで発表を終わりに致します。

# ～センター事業に更なる支援を！～



10月24日(金)、浜比嘉理事長ら役員は6月に開催された全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)の「令和7年度定時総会」で採択されました、「支援要請文」に基づき、沖縄市長に要請してまいりました。



## 地域社会に貢献するシルバーの新たな決意と要望 (要旨)

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進に、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減、孤独・孤立の防止などに貢献しています。特に、最近の調査では、後期高齢期におけるセンターでの活動継続が、介護予防に一定の効果を与えることが示されたところです。

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」において、七十歳までの就業機会の確保が企業の努力義務化とされ、希望する者が働き続けられる社会の実現に向けた環境整備が進み、センターの会員も年々高齢化が進展していることに加え、社会経済情勢の変化によりセンターの事業環境も厳しくなっておりますが、そのような中、従来の伝統的な職種に留まらず、新たな職域への進出、人手不足分野等で就業機会の開拓など、地域の課題を踏まえた積極的な取組の強化にも果敢に取り組んでいます。私たちは、このような地域社会の期待に応えるべく、新たな決意の下、本年度からは、センターの持続的な発展と要となる会員の拡大に向け「新たな仲間づくり計画」に基づき、女性会員の拡大や新規入会促進・退会抑制等の取組をより強力に推進してまいります。

こうしたセンターにおける就業やボランティアなど様々な活動は、SDGs(持続可能な開発目標)と深くつながるものであり、積極的に推進してまいります。また、「自主・自立・協働・共助」という理念のもと、会員の安全就業の確保を確実に履行し、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、①介護予防・日常生活支援総合事業、介護施設の介護の周辺業務の切り出し等による要支援高齢者に対する支援事業。②子育て中の現役世代や子供たちへの支援、空き家管理・墓地清掃、遊休農地・休耕地を活用した農場運営など、地域への貢献度が高く、課題解決に資する事業。③デジタル関連やホワイトカラー系職種の事業。④人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー派遣等の事業等を重点に取り組むとともに、地域社会の発展と就業意欲にある高齢者の活躍の場としての役割を果たしてまいります。つきましては、令和八年度のシルバー人材センター事業の推進のため、センターに対する、より一層のご理解・ご支援を要望いたします。

## 第7回 理事会

第7回理事会が10月21日(火)シルバーワークプラザ第会議室で開催された。議案第1号「正会員の入会」については、10人、(男性8人、女性2人)が承認された。その結果、10月21日現在の会員数は484人。(男性321人、女性163人)となった。なお、10月の退会者は1人。令和7年9月の実績では、会員数474人で14人の減、就業実人員は246人で24人の減、配分金約1450万円、約90万円の減、契約金額1800万円で約150万円の減となった。(いずれも対前年度同月比)

## 無事故記録

令和7年8月12日  
～  
年11月1日現在

94日

## 11月の予定

- ・ 18日(火) 安全・適正 就業担当者会議
- ・ 20日(木) 第一層協議体
- ・ 25日(火) 理事会